
無口な王様

くるる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無口な王様

【Nコード】

N8350L

【作者名】

くるる

【あらすじ】

「あなたはなにをしたかったんですか？」
「ダークな童話です。」

むかしむかしあるところに若い王様がいました。

その王様の国はとても争いが多く、平和とは程遠い国でした。

そこで王様は一人決意しました。

「この国のすべての人の笑顔の為に、平和な国を作ろう」

それから王様はとても働きました。

平和の為に東へ走り、笑顔の為に西へ走り

法律を変え、国を動かす為に大忙し

そんなある日

王様が作った法律を気に入らない人たちがいました。

もともと王様を気に入らないその人達は、ついに王様に反乱を起こしました。

王様は話し合おうとしましたが、誰も言うことを聞こうとしません。反乱も大きくなるばかりです。

この反乱がもつと大きくなったら、多くの人が戦争の犠牲者になる。そう思った王様は仕方なく兵隊を送りました。

出来る限り人を殺さず、反乱を起こした敵とだけ戦おうとしました。

戦争ははげしさを増し、多くの血が流れました。

髭が生えた王様は血が流れた事を悲しみました。しかし

「この国のすべての人の笑顔の為に、平和な国を作ろう」

生まれたばかりの王子を抱いて、王様は言葉にせず決意を新たにしました。

せめてこの子が大きくなる日にはこの決意が叶うようにと。

しかし戦争が終わった直後、また新たな反乱が起きました。

この反乱がまた大きくなってしまったら、国の人達の暮らしはもっと大変になってしまう。

そう思った王様はたくさんの兵隊を送りました。

二度と反乱を起こそうと思わないように徹底的に戦おうとしました。

戦争はあっという間に終わり、でも多くの血が流れました。

白髪交じりになった王様は再びひどく悲しかったです。しかし

「この国のすべての人の笑顔の為に、平和な国を作ろう」

大人になってしまった王子を見つめ、王様は言葉に出来ない決意を新たにしました。

せめてこの子が王様になる日にはこの決意が叶うようにと。

そうして戦争が終わった後、王様は戦争をなくす一つの方法を思いつきました。

悪い事をしそうな人を見つけて、反乱が起きる前に捕らえてしまおうと思ったのです。

そうして戦争は起こらなくなりました。

しかし、いつしか王様は「悪魔」と呼ばれるようになりました。

王様が一步城から出ると、子供は泣き止みました。

大人も家の中に逃げてしまふようになりました。

誰もが王様に捕らえられるのが怖かったのです。

年老いた王様の働きでこの国は戦争がなく、豊かな国になりました。

この国に平和と笑顔さえ戻れば王様の決意は果たされます。

「この国のすべての人の笑顔の為に、平和な国を作ろう」

でも、王様は二度とこの決意を口にする事は出来ません。

言ってしまうえば、その口がその決意を汚してしまうと知っていたからです。

「すべての人の笑顔」という言葉も「平和な国」も

悪魔と呼ばれる王様が口にしては、薄っぺらになってしまうからです。

ただ、その決意を胸に抱いて、王様はこの国の為に働き続けました。

そして最後の反乱が起きました。

反乱を起こしたのはたった一人。

その彼は王様が寝ようと一人になった所を訪れ、剣で突き刺し、

言いました。

「あなたはなにをしたかったのですか？」

次の日、新たな王様が即位しました。

その日から王国は笑顔と平和で満ちていました。

悪魔さえいなければ、この国は戦争がなく豊かだったからです。

人々はそんな事は知りません。

病気で死んだ「悪魔」にかわり

新たな王様は「聖者」と呼ばれました。

しかし王様はそう呼ばれても苦しそうに顔をしかめたまま

黙って国の為に働き続けました。

やがてこの国はとても素晴らしい国になりました。

新しい王様の態度もいつしか「無口な王様」と呼ばれ親しまれるようになりました。

この国の誰もがなぜ王様が無口なのか分かりません。

でも無口な王様は素晴らしい自分の国を王として見て、悪魔と呼ばれた父親がなにをしたかったのか気づいたのでした。

（後書き）

初投稿でした。

知人に見せたら、受け取り方が人それぞれでした。

あなたはもうでしたか？もし宜しければ感想をお待ちしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8350/>

無口な王様

2010年10月11日15時02分発行